

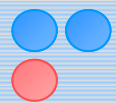


# 性格心理学



## 心理学 I 第8回

人の性格をタイプ分けするのは正しい？



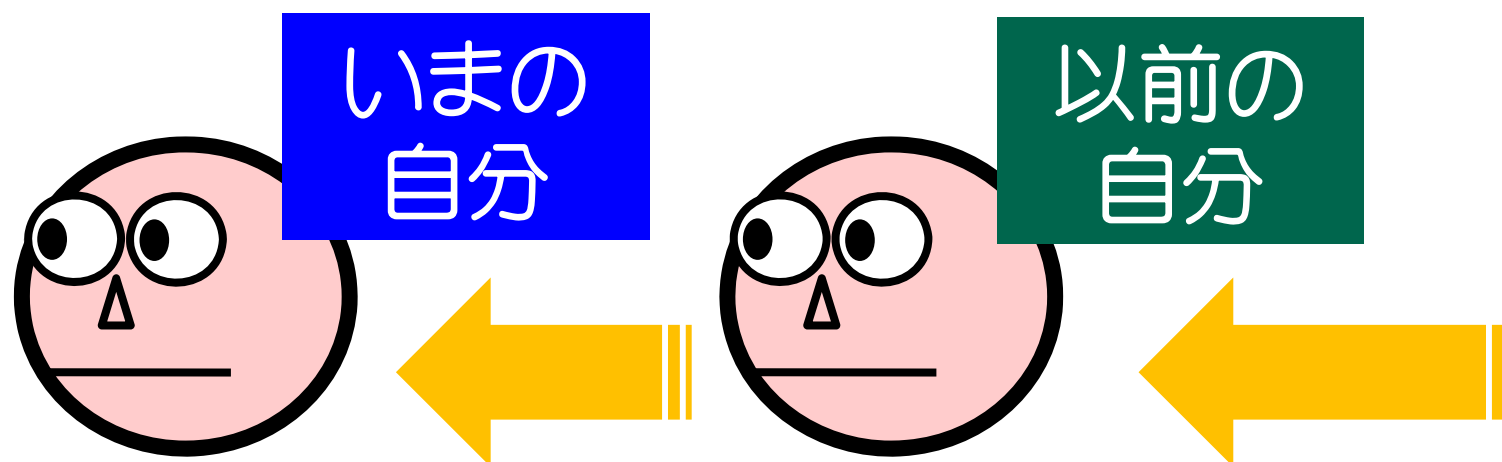
# 性格とは何か

自分はどんな性格か？

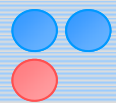
Q1

中学の頃も、高校の頃も、同じ性格だったか？

Q2



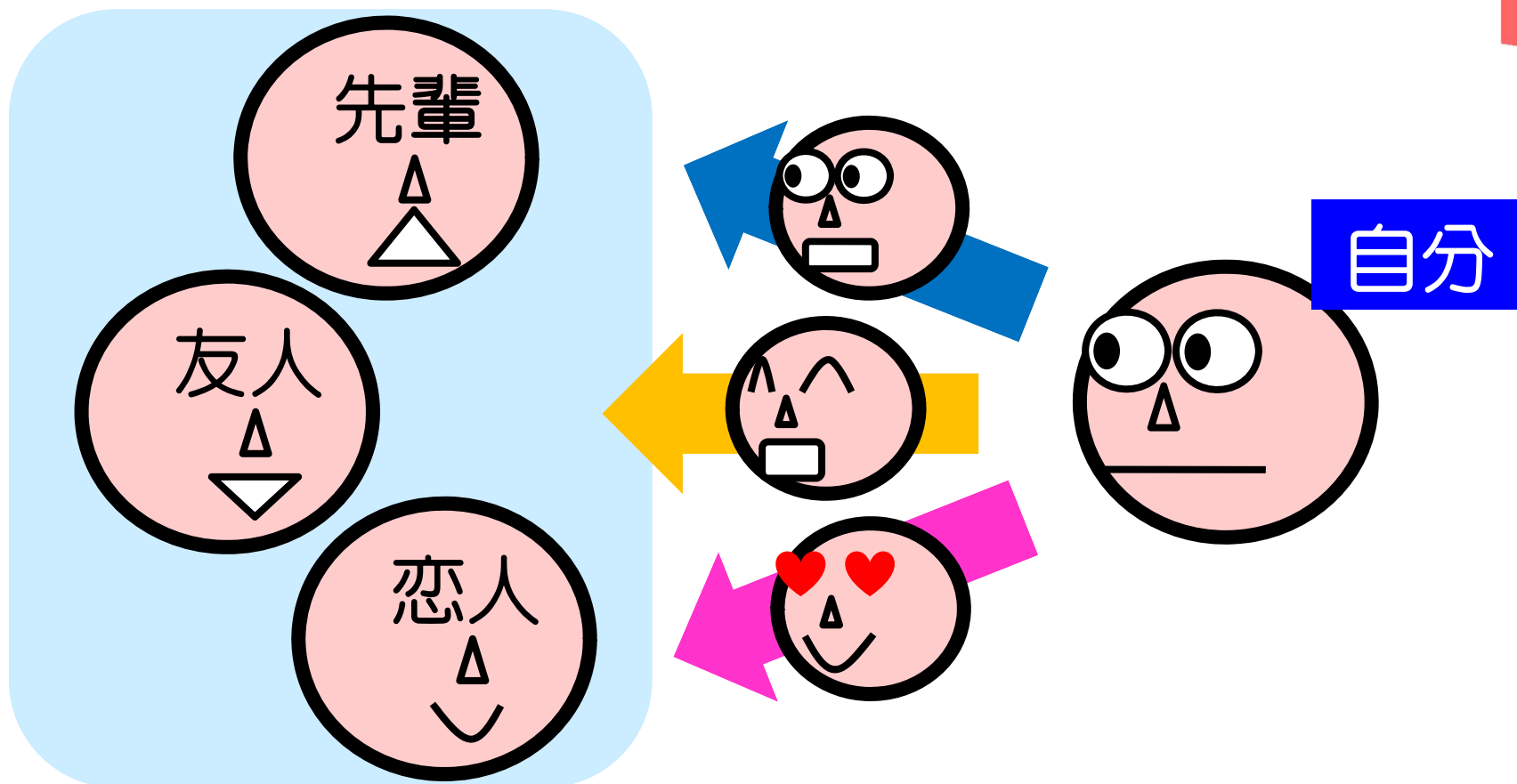
性格の継時的に一貫性



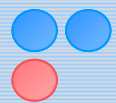
# 性格とは何か

誰に対しても、同じような性格でいられるか？

Q3



性格の通状況的一貫性



# 性格、パーソナリティ

そもそも、時間と状況を通じて一貫した「性格」が本当に存在するのかがまず問題となる

性格 (character)、パーソナリティ (personality)

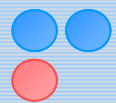
◆ persona (ラテン語) の相反する意味

演劇用の仮面



「性格」の定義も  
ちょうどこの両者に対応する

個人的資質の集合体



## 性格の概念に対する2つの立場

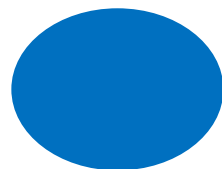
### ◆ハーツホーン & メイ(1928)

いろいろな道徳的行動に関する意見と行動を調査

さまざまな状況

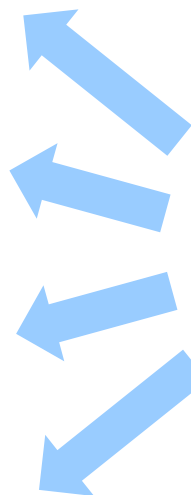
自己のふるまい  
についての意見

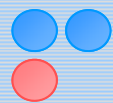
一貫している



実際の場面での  
行動

状況に応じて  
大きく変化





## 性格の概念に対する2つの立場

### 演劇用の仮面的な立場

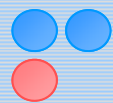
#### ◆メイ (1932)

パーソナリティは人の社会的刺激価であり、その人に対する**他人の反応で決定**される

#### ◆ミッシェル (1968)

同じ「性格」にもとづく行動だとしても、状況が変化したときの相関は**0.3~0.4**にすぎない

知的能力などの相関に比べればずっと低い



## 性格の概念に対する2つの立場

### 個人的資質の集合体的な立場

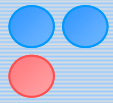
#### ◆オールポート（1937）

パーソナリティは、精神身体的組織をもった  
個人内の力動的機構であって、環境に対する  
彼特有の適応を決定するものである

現在の主流は、上の2つの立場を踏まえた…

### 相互作用論 アプローチ

人と状況の相互作用の産物として  
性格をとらえる立場

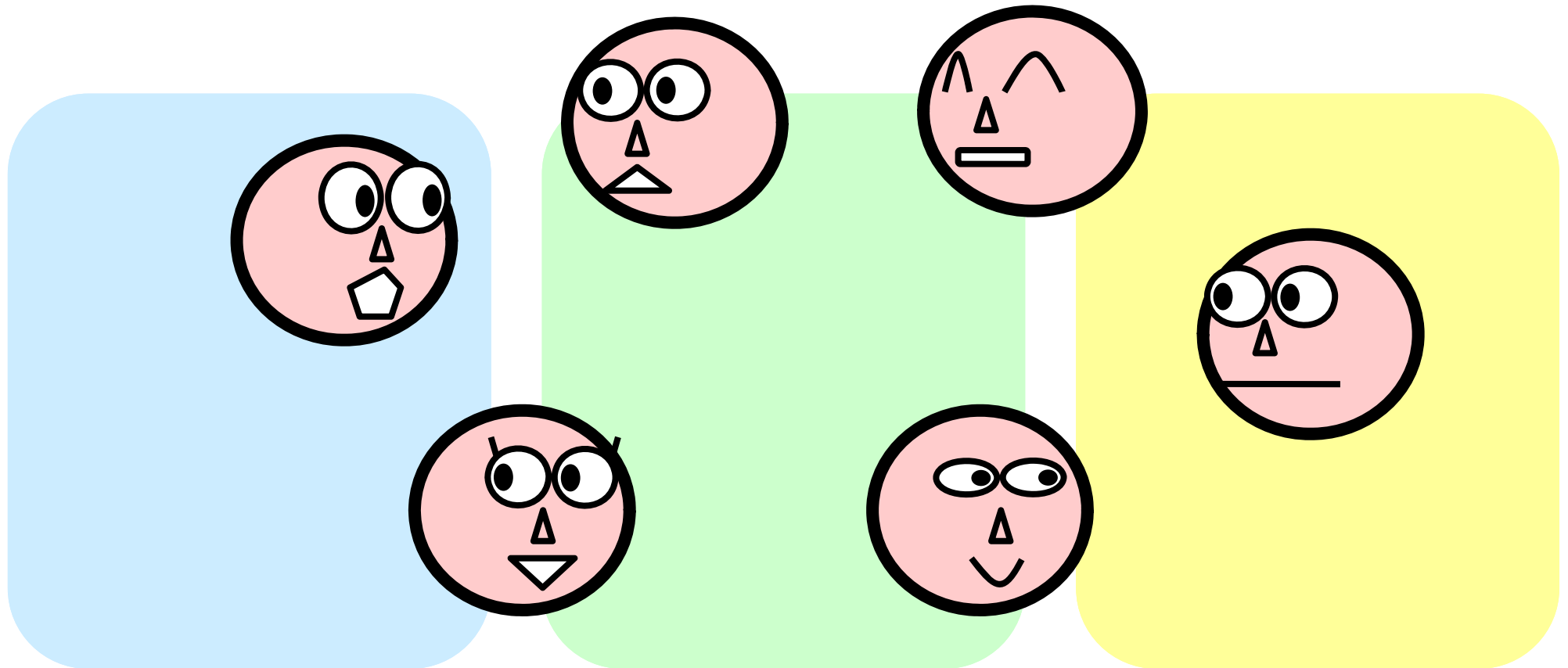


# 性格の類型論

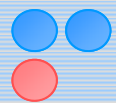


## 類型論

典型的な性格カテゴリーを設定し、  
いずれかに個人を当てはめる



個人を類型化



# クレッチマーの気質類型論

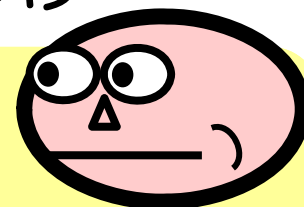
◆クレッチマー（1961） 体型と性格を関連づけ

**肥満型**

躁うつ気質

軽躁型（旺盛な活動力）

抑うつ型（思慮深く、気が弱い）

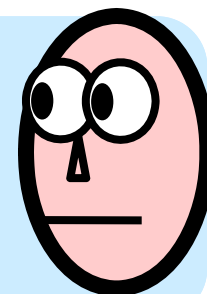


**細長型**

分裂気質

過敏型（刺激を避ける）

鈍感型（周囲に興味がない）

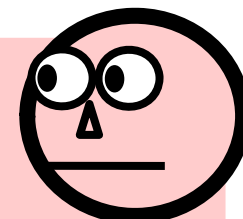


**闘士型**

てんかん気質

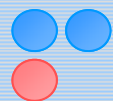
粘着型（粘り強い、頑固）

爆発型（時おり感情的に爆発）



この理論はどのくらい妥当だと思う？

**Q4**



# クレッチマーの根拠、批判

## 根拠

分裂症（現在の統合失調症）患者の半数以上が細長型

躁うつ症患者の6割以上が肥満型

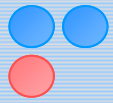
…など

## 批判

体型の区分が主観的

体型と性格が関連する原因が不明

体型は成長や栄養で変化するが、性格もそれに伴って変化するか？

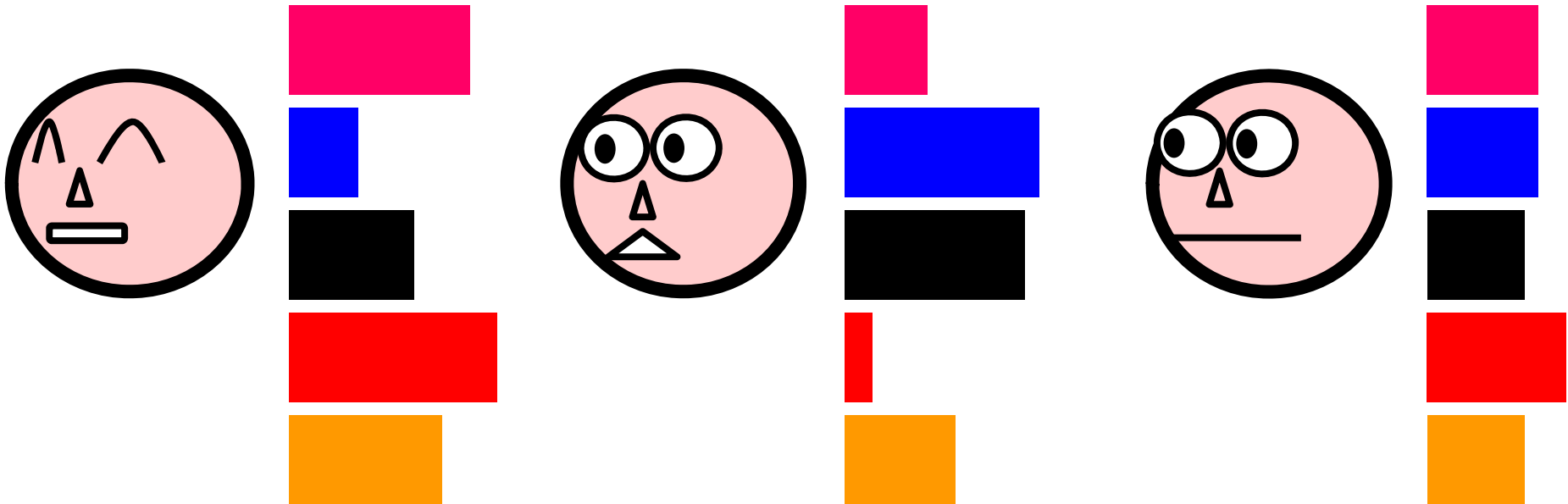


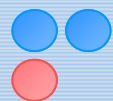
# 性格の特性論

## 特性論

個人に一貫して見られるさまざまな  
行動・心理のまとめり(性格特性)の  
程度をもとに性格を記述する

### 性格特性





# 性格の測定 — 質問紙法

## Big Five尺度

基本的な性格の次元を5つの特性で捉える心理尺度

現在の特性論の主流

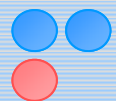
外向性 陽気、社交的

情緒不安定性 悩みがち、神経質

開放性 独創的、多才

誠実性 計画性がある、勤勉

調和性 温和、親切



# ABO血液型性格分類

血液型と性格の間に関連はあると思うか？

Q5

関連あり

◆古川竹二（1927）  
血液型気質相関説

◆能見正比古（1971）  
『血液型でわかる相性』

ブームとなり定着  
（日本独特）

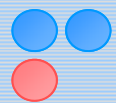
関連なし

古川の学説を検証し  
ても、実証できず

~~人が4タイプしかない  
なんて極端~~

自己成就的予言

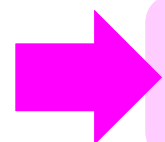
バーナム効果



# 血液型性格分類に関する心理学研究

- ◆ 松井(1991) 1980～88年の間の4度の全国調査  
(3000人規模)
- ◆ 縄田(2014) 2004～2005年の日米の調査(3000～  
5000人規模)

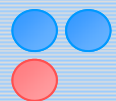
それぞれ20以上の性格項目と血液型の関連を検討



血液型間で一貫して差を示した項目は無し

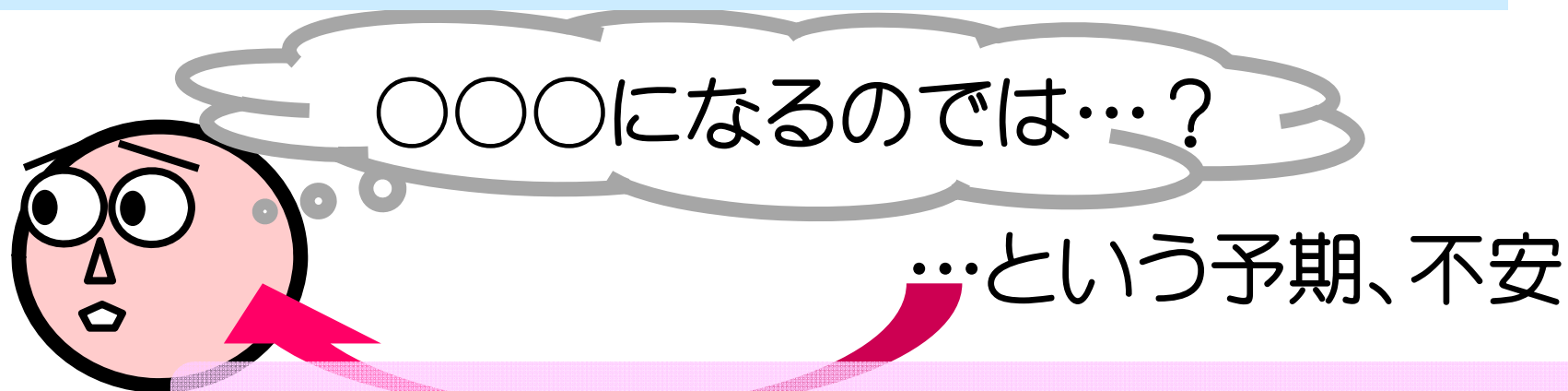
心理学の定説

むしろ、きちんとした分析では関連がないものを  
なぜ多くの日本人が信じているかが研究テーマ



# 自己成就的予言

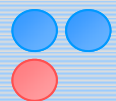
自己成就的予言 (self-fulfilling prophecy)



無意識のうちに、それに合った行動を促す

➡ 予言された状況を現実につけてしまう  
(例)「ダメかも」と思ってやるとやっぱりダメ、  
ピグマリオン効果(教科書p78)

血液型ステレオタイプに基づく、自己の性格への  
予期・不安により、それに合った行動をしてしまう



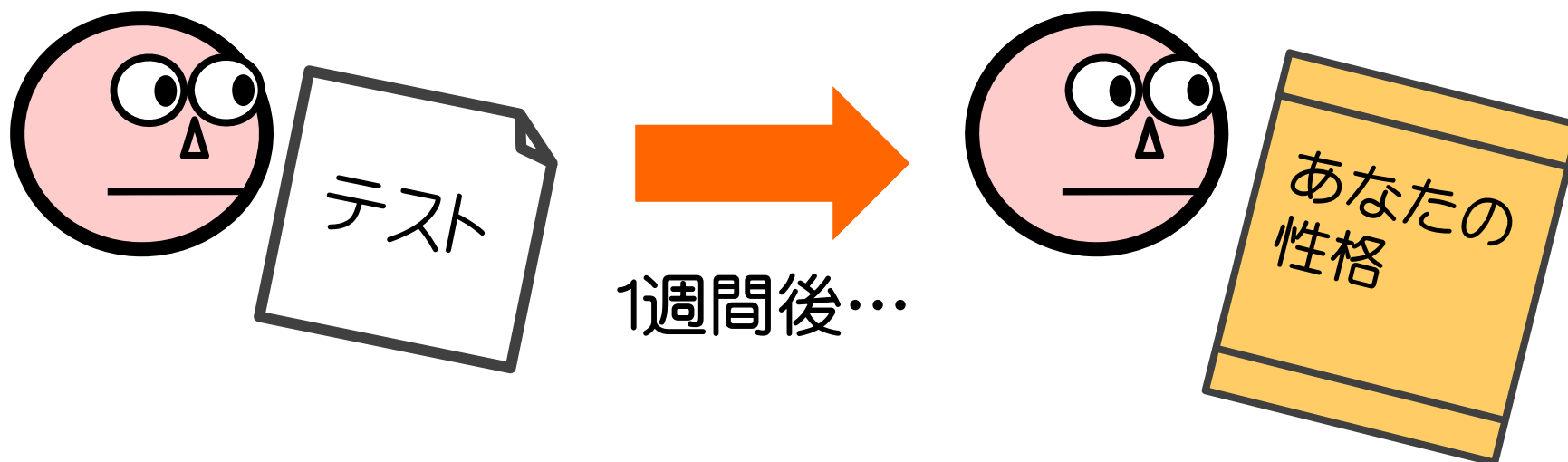
# 占い、性格判断

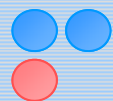
占いや質問に答える形式の性格判断は信じる？

Q6

## ◆フォア(1949)

学生39名に対し、『興味診断テスト』を実施し、  
その結果として「あなたの性格」を返した





## フォア(1949)の実験

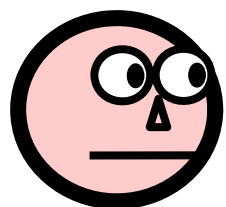
実は「あなたの性格」は…

全員、同じ文章

雑誌等の占星術から抜き出した13の文章

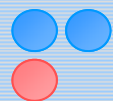
- あなた人に好かれ、尊敬されたい欲求があります
- あなたは自分自身を批判する傾向があります
- 無事に暮らすことは、あなたの人生の目標の一つです

…など



学生のテストへの評価

- 平均して10項目を「自分に当てはまる」と肯定する
- 全員が、このテストが有効であると認める



# バーナム効果

## バーナム効果

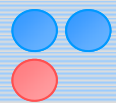
多くの人に当てはまるような一般的な性格記述を  
自分だけに当てはまると見なしてしまうこと

男女差はほぼない

心地よい情報であれば、偽の情報も信じやすい

不安が高い人、被暗示性の高い人は信じやすい

権威主義的な人は信じやすい

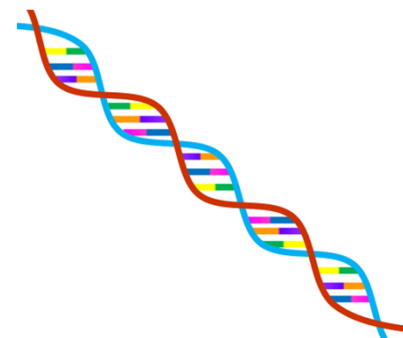


# 性格はどのように決まる？

人の性格は、何によって決まると思う？

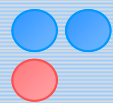
Q7

生まれ持った遺伝によって？



それとも、育ってきた  
家庭環境によって？





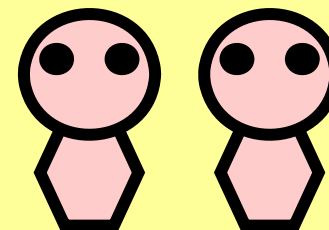
# 性格特性についての双生児研究

## ◆テレゲンら(1988)

同じ環境

で育った

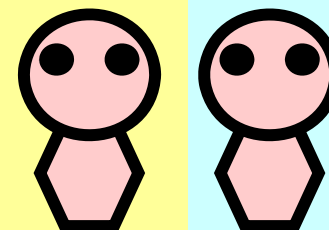
一卵性双生児



違う環境

で育った

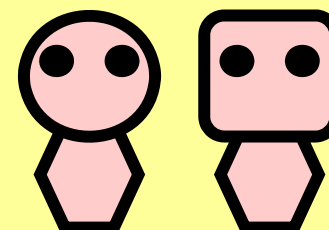
一卵性双生児



同じ環境

で育った

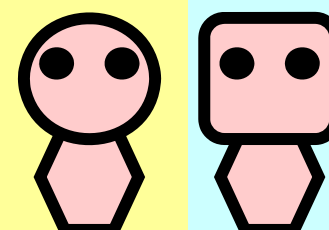
二卵性双生児

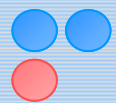


違う環境

で育った

二卵性双生児





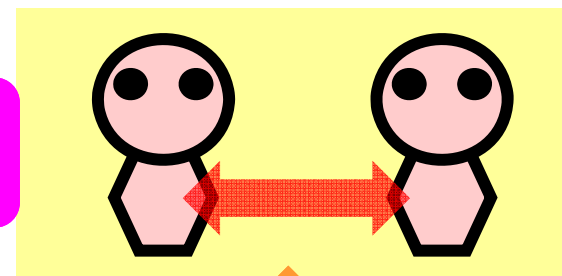
# 相関が高かったペアは？

性格の相関が高かった双生児は…

同じ環境

で育った

一卵性双生児



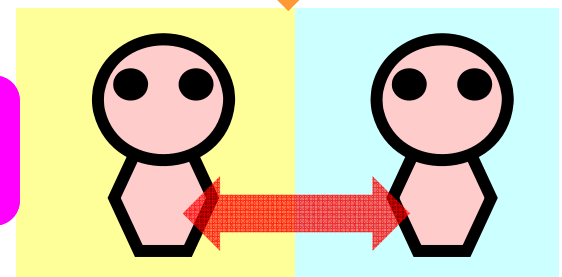
※ただし、まったく同じ性格  
というわけではない

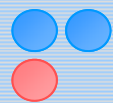
同程度に高い相関

違う環境

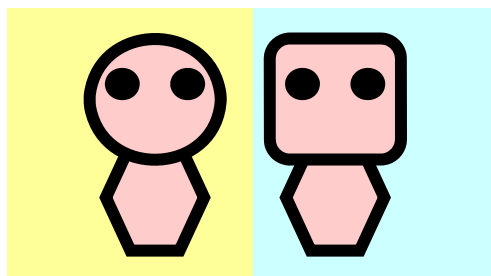
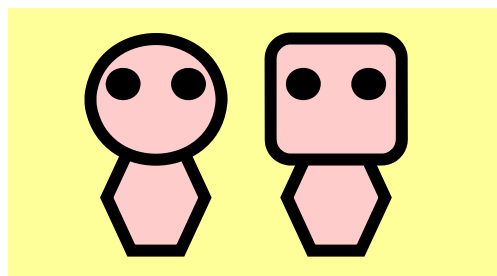
で育った

一卵性双生児





# テレゲンら(1988)の研究のまとめ



## 二卵性双生児

環境に関わらず  
性格の相関が低い

まとめると...

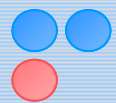
遺伝の効果は高い

環境の効果もある

一卵性・同じ環境でも  
違う部分がある

同じ家庭に育っても、お互いが共有しない環境が、  
性格の違いを生む

交友関係、学校、事故、病気など



# 心は「生まれか育ちか」？

心の形成に、「生まれか育ちか」という議論は不毛

能力、性格はある程度の範囲で遺伝

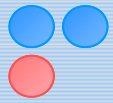


遺伝ですべてが決まるわけではない

環境が個体差を生む要因になる

遺伝した性質は、それに合う環境で発現する

「生まれか育ちを通して」心が形成される



## 本日の回答

人の性格をタイプ分けするのは正しい？

まず一貫した「性格」というものの存在について  
論争がある

性格には類型論と特性論があり、タイプ分けは  
主に類型論でおこなわれる

血液型や占いなどの性格分類には根拠が薄いもの  
が多く、むしろそれらを信じる心が重要な問題

性格は、遺伝が環境を通じて発現し変化したもの